

378

36

第四回中國縣聯合畜產共進會審查復命書
農商務省農務局

8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10¹⁸ 1 2 3 4 5

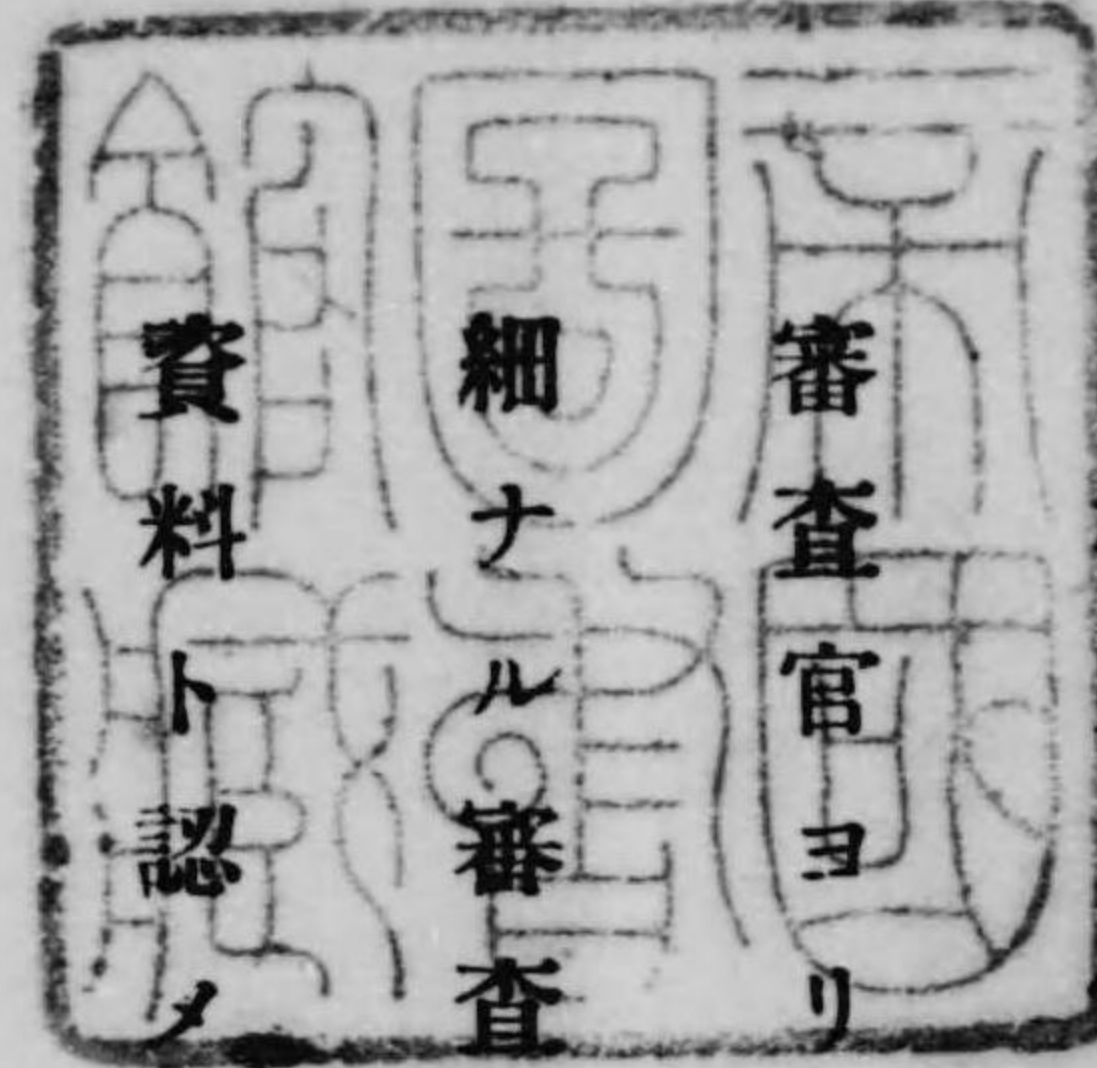
始



第八回中國六縣聯合畜產共進會審查復命書

農商務省農務局

378-36



島根縣主權第八回中國六縣聯合畜産共進會審査長及

審査官ヨリ提出シタル復命書ハ各種出品ニ關シテ精

細ナル審査論評アリ本邦畜産ノ改良上有益ナル参考大

資料ト認メラルルニ付茲ニ之ヲ印刷ニ附セリ

大正八年二月

農商務省農務局

〴
局寄贈本

大正
8. 5 20
寄贈

農商務省農務局

大正八年二月



第八回中國六縣聯合畜產共進會審查復命書

八審部本



第八回中國六縣聯合畜產共進會審查復命書

目次

審查長復命	農商務技師農學博士 岩 住 良 治
審查官復命	
牛 (役肉用種)	農商務技師 山 協 圭 吉
同 (乳用種)	農商務技師 石 崎 芳 吉
畜產製造品	畜產試驗場技師 飯 田 吉 英
畜產ニ關スル農具及器具器械	農事試驗場技師 廣 部 達 三
畜產經營ノ方法及成績	畜產試驗場技師 八 釘 本 儀 昌 七 郎

人員百名

一、審査官及審査員ノ官職氏名及分掌

第一區 役肉用牛

審査官(主任)

農商務技師

山脇圭吉

同 審査員

畜産試験場技師

釘本昌二

第一區 乳用牛

審査官(主任)

農商務技師

石崎芳吉

同 審査員

畜産試験場技師

八鍬儀七郎

審査員

農商務技師

布村繁

第二區 畜産製造品

審査官

畜産試験場技師

飯田吉英

同 審査員

農商務技師

豊島勝二

同 審査員

罐詰商

祭原伊太郎

第三區 畜産ニ關スル農具及器具器械

第四區

畜産經營ノ方法及成績

審査官(主任)

畜産試験場技師

八鍬儀七郎

審査員

畜産試験場囑託

竹内末五郎

同

畜産試験場技師

釘本昌二

左記ノ通

前同トノ比較
出品ノ批評
擬賞概表
擬賞明細表

出品點數及人員調

出品種別	兵		庫		鳥		取		島		根		岡		山		廣		島		山		口		計
	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	點數	人員	
牛	一九	一九	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	一九
畜産製造品	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
畜産ニ關スル農具及器具器械	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
畜産經營ノ方法及成績	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
計	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三

擬賞概表

出品ノ種別	出品數	出品人員	擬賞				數計	出品人員ニ對スル擬賞合算
			一等	二等	三等	四等		
牛	一八五	一八三	七	一三	二九	四三	九二	
畜產製造品	二四	二〇	一	二	三	五	一〇	
畜產ニ關スル農具及器具	三三	一四	一	一	三	三	七	
畜產經營ノ方法及成績	五	五	一	一	一	一	三	
計	二二七	二二二	七	一七	三五	五二	一一二	
							五割	
							四割	
							五割	
							五割	
							五割	

四

前回トノ比較及出品ノ批評

本會ノ出品總點數ハ二百三十七點、出品人員ハ二百二十二ニシテ内第一區牛ニ於テ點數百八十五人員百八十三、第二區畜產製造品ニ於テ點數二十四、人員二十、第三區畜產ニ關スル農具及器具器械ニ於テ點數二十三、人員十三、第四區畜產經營ノ方法及成績ニ於テ點數五、人員五トス之ヲ前回ニ比スレハ點數ニ於テ百九十、人員ニ於テ百五十ノ減少ヲ示ス

一、牛

牛ハ役肉用牛及乳用牛ノ二部ニ分チテ審査ヲ行ヘリ
 役肉用牛ニ屬スルモノハ百三十三點ニシテ内「デグワン」種十一點、「ブラウンスキス」種二點ヲ除キテハ悉ク黒毛ノ改良和種ニ屬スルモノトス、之ヲ前回ニ比スレハ概シテ體ク其ノ用途ニ對スル表徵ヲ具ヘ形態並系統ノ齊一向上ノ蹟顯著ニシテ役肉用牛ノ理想ニ向テ一階段ヲ築キタルノ感アルハ欣喜ニ堪エサル所ナリ、然レトモ之レ極メテ大體觀ニシテ尙或ハ交配ノ方法ニ於テ系統的概念ヲ失シ或ハ重要ナル形態ニ於テ一層ノ改善ト研究トヲ要スル點固ヨリ尠シトセス、形態ニ就テ言ヘハ牡ニシテ牡相ト品位ヲ缺キタルモノ、肩付弛緩シ肘部ノ充實ヲ缺キタルモノ、前胸偏小ニシテ體幅不足シタルモノ、背線ノ直強ナラサルモノ、膝部淺ク腰角粗大ニ突出シタルモノ、後軀傾斜シ且充實ヲ缺

五

キタルモノ等ハ最モ多ク存シタル主要ナル缺格ナリ、其ノ他上軀整ヒタルモノニシテ四肢軟弱、蹄形不良、歩様不確實ノモノ或ハ調教不充分ナルモノ等其ノ管理ノ方法ニ於テ改ムヘキモノ亦尠カラズ又出品牝牛ノ素質概シテ牡牛ニ比シテ大ナル徑庭アリ、特ニ後軀短狹ニシテ乳房ノ發育不良ナルモノ多シ將來更ニ一段ノ進歩ヲ期セザル可カラサル處トス

乳用牛ハ「エーアシャー」種十七點、「同雜種八點」、「ホルスタイン」種二十三點、同雜種四點ノ出陳アリ今之ヲ通覽スルニ大體前回ニ比シ著シク遜色ヲ呈シ中國諸縣ニ於ケル乳用牛ノ粹ヲ集メタル出品トシテ聊寂莫ノ感アルハ大ニ遺憾トスル所ナリ素ヨリ過般來鐵路不通ノ結果乳用牛ノ出陳ニ最モ不便ナリシ事情ヲ諒スヘシト雖「エーアシャー」種及其ノ雜種ノ出品ニアリテハ牡牛ニ於テ大ニ劣リ牝牛ニ於テ稍薦賞スヘキモノヲ見タリト雖概ネ體軀矮少トナリ後軀殊ニ泌乳器官ノ發育不良ナルヲ共通ノ缺點トナセリ、而シテ「ホルスタイン」種及其ノ雜種ノ出品ハ「エーアシャー」種ニ比シ大體上優レタル處アリ殊ニ牡牛ニ於テハ一二優秀拔群ノモノヲ見タリト雖牝牛ニアリテハ其ノ體型及實質ニ於テ本種ノ特徴ヲ具備スルモノ甚少ク或ハ頸重厚ニシテ腹緊縮シ或ハ乳房乳頭ノ發育不良ニシテ乳嚢ノ著シカラサル等乳用トシテ著シク利用價值ヲ損セルモノ多キヲ認メタリ要スルニ聯合各縣ニ於ケル乳用牛ノ生産飼養ハ近時稍振ハサルノ狀況ニアルモノノ如シト雖畢竟今同出品ノ成績ハ乳用牛トシテ充分其ノ用途ニ利用セサルモノ多キノ蹟ヲ示セルカ故ニ將來益牛體ノ改良ニ努力スルノ外乳牛

トシテノ利用上遺憾ナカラムコトヲ期スルノ要アリ

一、畜産製造品

畜産製造品二十四點中ニ煉乳五點、「バター」七點、乳菓二點、牛肉大和煮罐詰三點、牛肉味噌漬二點「ハム」三點、「ベーコン」一點、「ソーセージ」一點アリ前回ニ比シ出陳點數ノ減少ヲ見タリト雖概シテ製品ノ品質、罐詰及包裝等ノ方法ニ於テ漸次改善ノ狀ヲ呈シ就中「ハム」及煉乳ニ於テ各一點ノ良品ヲ出セリ、然リト雖煉乳ニアリテハ尚色澤調度ノ不良ナルモノ、結晶ノ粗大ナルモノ、凝塊ヲ存セルモノ、香氣ヲ缺ケルモノアリ又「バター」ニアリテハ酸酵不良ナルモノ、練壓過度ナルモノ、水分過多ナルモノアリ又牛肉大和煮罐詰ニアリテハ肉ノ截切、味付及填充法ノ不良ナルモノアリ而シテ「ハム」及「ベーコン」ニ在リテハ原料豚肉ノ品質並肉ノ切截法ノ不可ナルモノアリ、鹽漬、燻烟及包裝法ニ於テモ亦多少ノ缺點アルヲ認メタリ此等ハ將來改良ヲ要スル諸點ナリトス

二、畜産ニ關スル農具及器具器械

畜産ニ關スル農具及器具器械ニ於ケル出品數二十三點ハ之ヲ前回ニ比スレハ其ノ三分ノ一二及ハサルノミナラス特ニ改良ヲ加ヘタルモノナク或ハ材料ヲ節約スルノ構造ヲナシタルノ結果耐久性ノ乏

シキモノ或ハ考案ヲ施シタル結果却テ實用ニ適セサルニ至レルモノアリ而シテ作業上動力關係ヨリ之ヲ見レハ島根縣省力藁切器ハ二十八疔ノ壓力ヲ以テ辛ウシテ藁程二把ヲ切斷シ得ルカ如キ或ハ新井式改良犁ノ堰斷面一平方寸ニ付三疔以上ノ牽引力ヲ要スルカ如キハ其ノ抵抗過大ナルモノト謂フヘシ然ルニ廣島縣藁切器ハ截斷壓力其ノ六割三分ニテ足リ島根縣改良仁多犁、東田式深耕犁、岡山縣岡田犁ノ如キハ其ノ牽引力其ノ八割内外ニテ同量ノ仕事ヲナシ得ルカ如キハ注目ニ値スルモノニシテ向後更ニ斯道ニ考究ヲ重ネ益々其ノ改善ヲ圖リ材料ヲ精選シ製作ニ注意シ以テ遺憾ナカラシムヘシ

四、畜産經營ノ方法及成績

畜産經營ノ方法及成績ハ其ノ出品五點ニシテ之ヲ前回ニ比シテ一點ヲ減セリ何レモ畜産組合事業經營ノ方法及其ノ成績ヲ舉ケタルモノナリ、時勢ノ變遷ニ伴ヒ時ニ消長ヲ免レスト雖概シテ各組合ノ基礎愈固ク事業成績ノ見ルヘキモノアリ其ノ畜産ノ改良發達ニ齎セル效果多大ナルヘキハ疑ヒナキ處ナリト雖亦一方發達ノ餘地尙綽々タルノ感ナクンハアラス今後一層ノ奮勵努力ヲ要ス。

第八回中國六縣聯合畜産共進會擬賞明細表

第一區 牛

壹等賞 金牌 賞金貳百圓 七名

種類	姓名	生年月	毛色	住所	氏名
改良和種	大増號	大正五年十一月	黒	廣島縣神石郡小野村	細川 金藏
改良和種	第三十二號	大正五年十一月	黒	廣島縣美方郡射添村	射添村農會代表者
改良和種	第七十號	大正六年六月	黒	兵庫縣東伯郡上北條村	北風 國藏
改良和種	第十二號	大正六年六月	黒	岡山縣川上郡富家村	江草 壽太郎
改良和種	第六十二號	大正六年六月	黒	岡山縣大原郡斐伊村	細木 臺三郎
改良和種	第六十號	大正五年七月	黒	山口縣下關市大字關後村	吉岡 茂兵衛
改良和種	第四十一號	大正五年七月	黒	廣島縣安佐郡三篠町	市川 照
改良和種	第一號	大正五年七月	黒	廣島縣安佐郡三篠町	市川 照

貳等賞 銀牌 賞金百圓 十三名

種類	姓名	生年月	毛色	住所	氏名
改良和種	大折號	大正五年十一月	黒	廣島縣神石郡新坂村	細川 五三太

牛肉味噌漬

島根縣簸川郡大津村島田熊太郎
兵庫縣神戸市元町大井榮三郎

第三區 畜産ニ關スル農具及器具器械

二等賞銀 牌一名

名	稱	住	出	所	品	氏	人
藁切	器械	廣島縣	双三郡	三次町	永野	又	平

三等賞銅 牌三名

名	稱	住	出	所	品	氏	人
改良式	犁	島根縣	仁多郡	布勢村	友塚	友太	郎
東田式	耕犁	岡山縣	八頭郡	國英村	東田	光	次郎
岡田	一號形	岡山縣	真庭郡	八束村	岡田	彌	宗

四等賞褒 狀三名

畜草	名	稱	住	出	所	品	氏	人
刈鎌	1號	兵庫縣	美囊郡	別所村	田	中	春	吉
牛削蹄器		島根縣	能義郡	廣瀬町	加本	久右衛門		
鞍		島根縣	能義郡	安田村	宮本	秀次郎		

第四區 畜産經營ノ方法及成績

二等賞銀 牌一名

畜産組合ノ經營方法及事蹟	品名	住	出	所	品	氏	人
		山口縣	都濃郡	徳山町	山口縣	都濃郡	畜産組合

四等賞褒 狀一名

畜産組合ノ經營方法及事蹟	品名	住	出	所	品	氏	人
		島根縣	能義郡	廣瀬町	島根縣	能義郡	畜産組合

功勞賞並追賞授與者調

事業	住	所	氏	名	備考
産牛業	兵庫縣美方郡射添村	谷	井	長	襄功勞賞
同	同縣津名郡多賀村	酒	田	幸太	同
同	鳥取縣西伯郡東長田村	生	風	國	同
同	同縣東伯郡上北條村	北	佐	專五	同
同	鳥根縣能義郡井尻村	岩	又	右衛門	同
同	同縣簸川郡荒木村	原	田	治九	同
同	岡山縣川上郡高倉村	井	崎	趙	同
同	同縣岡山市大字南方	岡	島	大	同
同	廣島縣廣島市南竹屋町	甲	香	川甚右	同
同	同縣高田郡船佐村	故	根	源	同
同	山口縣佐波郡袖野村	山	崎	助	同
同	同縣美彌郡綾木村	宮	崎	助	同

功勞賞

兵庫縣美方郡射添村

銀杯

谷

襄

夙ニ但馬牛ノ改良ヲ企圖シ力ヲ優良種牡牛ノ設置ニ致シ時ニ「ブラウンスキス」種ヲ其ノ原產地ヨリ輸入シテ雜種改良ノ效果ヲ舉ケ居村産牛ヲシテ但馬各村ニ冠タラシムルニ至レリ又簡易埋草窖建設ノ範ヲ示シテ其ノ普及ヲ圖リ或ハ畜牛ノ共濟組合ヲ起ス等斯業ノ發達ニ盡瘁スル處渺カラス其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

兵庫縣津名郡多賀村

銀杯

酒

井長次

夙ニ意ヲ淡路産牛ノ改良ニ注キ乳役兼用ノ方針ヲ立テ和種ト「エアシャー」種トノ交雜ニ依リ乳量ノ大ナルト共ニ良ク農耕ニ適スル牛ノ生産ニ成功シ「バター」ノ製造ヲ起シ人工哺乳ヲ勸メテ脫脂乳ノ利用ヲ全カラシメ又縣立酪農試驗場ノ設置ニ盡力シ種牛生産販賣組合ヲ組織シ共同搾乳所ヲ設ケシムル等斯業ノ發展ニ資スル處大ニシテ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

鳥取縣西伯郡東長田村

銀杯

生田幸太郎

夙ニ畜牛改良ノ急務ナルヲ認メ各地ヲ視察シテ其ノ方針ヲ定メ確信ヲ以テ其ノ業ヲ執リ自家所有地ヲ提供シテ每歲品評會ヲ催スコト已ニ十有九回ニ及フ又縣ノ改良方針ニ從ヒ「ブラウンスキス」種ヲ人ル
クノ先驅者トナリ或ハ牛馬市場ヲ新設シテ賣買上ノ弊害ヲ除キ或ハ放牧場ヲ設クル等斯業ニ對スル其
ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

鳥取縣東伯郡上北條村

銀杯

北風國藏

夙ニ産牛改良ヲ企圖スルヤ優良種牝牛ノ供給ヲ以テ其ノ緊切要件ナリト爲シ熱心之カ育成ニ盡スコト
三十有餘年、卓越セル種牝牛ノ産出七十餘頭ヲ算ス又産牛馬組合及牛馬商組合ノ設立ニ盡力シ夫々議
員及組長トシテ奮勵事務ニ執掌シ産牛家ヲ啓發シ斯業ノ發展ニ資セルコト多大ニシテ其ノ功績稱揚ス
ヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

鳥根縣能義郡井尻村

銀杯

岩佐專五郎

夙ニ意ヲ畜牛ノ改良ニ注キ「デヴオン」種ノ交配ヲ勸奨シテ顯著ナル効果ヲ擧ケ又私財ヲ投ジテ品評會
ヲ開催シ或ハ畜産組合、家畜市場、牛馬商同業組合等ニハ常ニ卒先シテ其ノ衝ニ當リ在來ノ弊習ヲ打破
斯業ノ發展ニ盡瘁スルコト三十年其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

鳥根縣簸川郡荒木村

銀杯

原又右衛門

夙ニ外國種牛ノ卓越セル點ニ着眼シテ雜種改良ニ着手セシハ實ニ明治初年以來ニシテ後ニハ「ブラウ
ンスキス」種牛ノ多數ヲ輸入シテ大ニ郡内産牛ノ改良ニ資シ搾乳所ヲ設ケテ餘乳ノ利用ヲ圖リ家畜市
場ヲ設ケテ糶賣法ヲ開始シ又大ニ朝鮮牛ヲ輸入シテハ小農家ノ農耕用ヲ充タセル等盡瘁多年其ノ功績
稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

岡山縣川上郡高倉村

銀杯

井田治九郎

夙ニ意ヲ和牛ノ改良ニ注キ從來ノ體型ニ一步肉用型ヲ附加スルノ要アルヲ認メ短角種ノ交雜ニ依リ其ノ目的ヲ達シ遂ニ川上郡產牛ヲシテ今日アラシムルニ至レリ且備中南部地方ニハ屢多數ノ朝鮮牛ヲ入レテ農家ニ耕役ノ便ヲ供シ又ハ地方小農ニ無利子長期又ハ仔分ケノ方法ヲ以テ畜牛購入ノ資金ヲ貸付シ或ハ飼草改良ノ成績ヲ示シテ當業者ヲ獎勵スル等斯業ノ發達ニ盡瘁スルコト三十餘年其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

岡山縣岡山市大字南方

銀杯

岡崎趙七

夙ニ乳用牛ノ蕃殖ニ從事シ傍之ヲ周圍ノ農家ニ勸誘シ且其ノ販路ヲ開拓シテ斯業ノ發達ヲ促シ又常ニ種類ノ改良ニ留意シ自ラ米國ニ渡航シテ多數ノ種牛ヲ購入シテ以テ能力ノ向上ヲ圖リ或ハ岡山市ヲ中心トスル搾乳畜產組合ノ創立ニ盡力シタル等其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

廣島縣廣島市南竹屋町

銀杯

甲島大吉

夙ニ力ヲ畜牛ノ普及ニ致シ自家生産ノ種牛ヲ廣ク小農家ニ貸付シ又自ラ乳牛ノ改良ヲ企テ優良種牛ヲ

購入蕃殖シテ地方產牛ノ進歩ニ資シ或ハ久シク乳牛飼養者組合設立ノ必要ヲ唱導シ幾多ノ難關ヲ排シ終始熱心努力終ニ之カ成立ヲ遂ケタル等斯業ノ發展ニ貢獻セリ其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

追賞

廣島縣高田郡船佐村
香川淳莊太父

故香川甚右門

銀杯

夙ニ心ヲ地方產牛ノ改良ニ傾ケ多クノ私財ヲ投シテ或ハ郡畜牛品評會ヲ開キ或ハ講習會ヲ催シテ以テ畜產ニ關スル智識ノ普及ヲ圖リ或ハ「ブラウンズ井ス」種ヲ原產地ヨリ輸入シテ斯業ノ發展ニ資シ又ハ放牧場、家畜市場ノ設立、埋草製造、畜牛ノ去勢、優良種牛ノ保留等ニ盡瘁セルコト頗ル大ニシテ其ノ遺績永ク芳シ仍テ茲ニ之ヲ追賞ス

功勞賞

山口縣佐波郡柚野村

銀杯

山根源吉

夙ニ畜牛ノ蕃殖ヲ鼓吹シ優良種牡牛ノ設置ニ努力シ或ハ郡有、縣有及國有種牡牛ノ管理ニ任シ乳用牛ノ普及ト和牛ノ改良ニ向テ銳意盡瘁スルコト二十餘年同地方ノ產牛ヲシテ全ク面目ヲ新ニセシム其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

功勞賞

銀杯

山口縣美彌郡綾木村

宮崎 助作

夙ニ乳牛ノ蕃殖ニ從事シテ地方ニ模範ヲ示シ仔牛品評會ノ開催ニ盡力シテ當業者ヲ鼓舞シ煉乳製造業ト連絡ヲ取り原料乳ノ供給ヲ圓滑ナラシメ以テ農家ヲシテ餘乳利用ノ途ヲ全カラシメ或ハ畜牛運動場及埋草窖ノ建設ヲ勸誘シ之カ普及ヲ圖ル等斯業ノ發達ニ貢獻スル處尠カラス其ノ功績稱揚スヘシ仍テ茲ニ之ヲ賞ス

役肉用牛審査報告

審査官(主任)農商務技師 山脇 圭吉
同 畜産試験場技師 釘本 昌二

本官等ノ擔當審査セルハ役肉用途ニ屬スル畜牛總點數百三十三點ニシテ今回出陳牛ノ大部分ヲ占メ總數ノ七割ニ步ニ相當ス之ヲ前回ト種別比較スルニ

縣別	第八回				第七回				増減
	改良種	デヴォン種	デヴォン雜種	ブラウン種	改良種	デヴォン種	デヴォン雜種	ブラウン種	
兵庫縣	一五				二				減八
鳥取縣	三〇	八			三	七			減二
島根縣	二九		一		七				增三
岡山縣	一八				一				減六
廣島縣	二五				三				增三
山口縣	二二				一				減五
計	一三三	一八	一	二	一六	一七	三	一	減五

即チ總計ニ於テ五十五點ヲ減シタルノミナラス島根、山口兩縣ノ僅ニ増加セル外他ハ等シク著シキ減

少ヲ見ルニ至レリ之レ今回新ニ協定サレタル點數制限ノ結果ニシテ敢テ怪ムニ足ラサルナリ左ニ之カ
種別概表ヲ試ムレハ

一 改良和種

本種ハ中國ノ產牛ヲ代表スヘキ最重要ナル種類ニシテ其ノ出品點數百二十點、總數ノ六割五歩ニ當
リ實ニ本共進會ノ骨子ニシテ各縣ノ等シク全力ヲ傾倒セル處ナリ之ヲ前回ニ比スルニ

縣別	出品點數		増減
	第八回	第七回	
兵庫縣	一五	二二	減
鳥取縣	三〇	三三	減
島根縣	二九	二七	増
岡山縣	一八	二五	減
廣島縣	一五	一九	減
山口縣	二三	二八	減
山形縣	二〇	二二	減
計			四一

即チ島根縣ニ於テ十二頭、山口縣ニ於テ五頭ヲ増加セルハ前者ハ主催縣タルノミナラス且ツ近年兩縣
產牛界ノ趨勢ハ頓ニ本種ノ改良ニ重キヲ置クニ至リタル結果ニシテ他ハ等シク出品ノ制限ニ依リ著シ

ク其ノ數ヲ減シ總數ニ於テ實ニ四十一點ノ減少ヲ來セリ從テ出品動物ハ總テ精査撰拔所謂其ノ粹ヲ集
メタルモノニシテ其ノ壯觀名狀スヘカラス特ニ注目スヘキハ前回ニ比シ著シク外貌ノ統一ヲ見ルニ至
リ之ヲ其ノ系統ト體型上ヨリ概括シテ略三種ニ大別スルコトヲ得ヘク即チ「ブラウンスキス」系統ニ屬
スル體軀雄大ナル兵庫、鳥取ノ產牛、短角種ノ血液ヲ交ヘ體軀引締リタル廣島、岡山ノ出品及島根山
口兩縣ノ「デヴォン」系之ナリ、元ヨリ同系ノ範圍ニ屬スルモノト雖地方ノ狀況ニ應シ多少其ノ標徵ヲ
異ニスルハ勿論ニシテ畢竟中國產牛ノ改良方針ハ以上三種ノ系統ト體型ヲ大體ノ基礎トシテ各自理想
ノ標準ニ向テ進マントスルニ外ナラス而シテ今ヤ漸次其ノ實現ヲ見ムトスルニ至レルハ斯界ノ爲欣喜
ニ堪ヘサル處ニシテ一般ニ其ノ品質著シク向上セルヲ認メ得ヘシ斯クシテ中國ノ產牛ハ茲ニ役肉用途
ノ理想ニ向テ一進歩ノ階段ヲ築キタルモノト謂フヘク指導者ノ苦心、當業者ノ努力等シク推賞ニ値ス
ヘシ

然レトモ之レ極メテ大體ノ觀察ニシテ尙或ハ交配ノ方法ニ於テ系統的概念ヲ失スルモノ或ハ形態ニ於
テ重要ナル用途ノ目標ヲ缺クモノ尠ナカラス、兵庫、鳥取兩縣ノ出品ニ胸部扁平體幅不足セルモノ、
肩付弛緩シ肘部ノ充實ヲ缺クモノ、廣島、岡山兩縣ノ出品ニ後軀著シク傾斜シ且ツ充實ヲ缺クモノ多
キカ如キ又島根、山口兩縣ノ出品ハ一般ニ未タ血液混交ノ融和ヲ見ルニ至ラス肉役用途トシテハ體軀
ノ締リ惡ク上軀整ヒタルニ不拘四肢軟弱ナルモノ多キカ如キ其ノ主要ナル缺格ナリトス

役員用牛擬賞概表

縣名	出 品	擬 賞 等 級				計	出品人員ニ對スル擬賞割合
		一 等	二 等	三 等	四 等		
廣 島	一五	一	二	二	四	六〇〇	
岡 山	一八	一	二	三	五	五五〇	
兵 庫	三五	一	二	五	九	六〇〇	
鳥 取	四〇	一	二	三	六	五三三	
山 口	一三	一	二	二	五	四〇〇	
島 根	一三	一	二	二	五	四二五	
計		五	一〇	二〇	三九	五、一一	

乳用牛審査報告

審査官(主任) 農商務技師 石 崎 芳 吉
 同 畜産試験場技師 八 畝 儀 七 郎

本會ニ於ケル乳用牛ノ出陳ハ總數五十二頭、出品人員五十人ニシテ其ノ種類別ハ「エアシャー」種及其ノ雜種二十五頭、「ホルスタイン」種及其ノ雜種二十七頭ニシテ山口縣出品數ノ十四頭ヲ最多トシ岡山縣、廣島縣ノ各十二頭、鳥取縣、島根縣ノ各五頭之ニ次キ兵庫縣ノ四頭ヲ最少トス、今其ノ出品縣ノ別、種類別、性別ヲ表示スレハ左ノ如シ

出品ノ縣別、種類別、性別表

縣 名	「エアシャー」種		「エアシャー」雜種		「ホルスタイン」種		「ホルスタイン」雜種		計
	牝	牡	牝	牡	牝	牡	牝	牡	
廣 島	二	三	一	一	四	二	二	二	二
岡 山	一	一	一	一	二	一	一	一	二
兵 庫	三	一	一	一	五	一	一	一	二
鳥 取	三	一	一	一	二	一	一	一	二
山 口	三	一	一	一	五	一	一	一	二
島 根	三	一	一	一	五	一	一	一	二
計	三	三	三	三	二五	一〇	二	二	三二

計	島根縣	二四	五一	一七五	八	一	八	一九	四	三	四	一	四	一	四	五
---	-----	----	----	-----	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

即チ前回ニ比スレハ其ノ出品數「エアシャー」種及其ノ雜種ニ於テ四十頭、「ホルスタイン」種及其ノ雜種ニ於テ三十九頭ノ減少ニシテ出品總數ニ於テハ實ニ前回ノ四割ニ當ルノ僅數ナリ
而シテ審査ハ總體審査ニ亞テ個體審査比較審査ヲ行ヒ叮嚀反覆各出品牛ヲ精査シ且之ニ出品者ノ業況功績等ヲ參酌シテ總數二十五頭ヲ選拔シ一等賞二頭、二等賞三頭、三等賞九頭、四等賞十一頭即チ出品人員ニ對スル五割ノ擬賞ヲ行ヒタリ其ノ明細ヲ縣別ニ表示スレハ次ノ如シ

擬賞概表

出品縣	出品點數	出品人員	擬賞等級				計	出品人員ニ對スル擬賞歩合
			一等	二等	三等	四等		
廣島縣	三三	三三	一				四二七	
岡山縣	三三	三三					五〇〇	
兵庫縣	四四	四四					二五〇	
鳥取縣	四五	四五					七五〇	
山根縣	四四	四四					五〇〇	
島根縣	五五	五〇	二	一	九	二	六〇〇	
計	五二	五〇	二	一	三	二	五〇〇	

又本回ノ出品數ヲ縣別ニ掲ケ種類毎ニ前回ノ出品ト比較スルトキハ左表ノ如シ
縣別、種類別、出品頭數回次比較表

種類	縣	共進會回次										計					
		第六回	第七回	第八回	第六回	第七回	第八回	第六回	第七回	第八回	第六回		第七回	第八回			
エアシャー種	兵庫縣	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
「エアシャー」雜種	鳥取縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
	島根縣	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
	岡山縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
	廣島縣	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
	山根縣	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
	山口縣	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
	計	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	「ホルスタイン」種	兵庫縣	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	「ホルスタイン」雜種	鳥取縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		島根縣	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
岡山縣		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
廣島縣		二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
山根縣		二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
山口縣		三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
計		二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

總計	計				
	第六回	第七回	第八回	第六回	第七回
	二	三	四	二	二
	二	三	二	五	二
	一	一	一	一	一
	三	五	三	二	三
	六	八	七	一	二
	三	二	三	四	一
	九	六	七	二	三

三四

純粹種ト其ノ雜種トノ出品數ヲ比較スルニ前回ニ比シテ雜種ノ割合「エーアシャー」種ニ於テ増加シ「ホルネタイン」種ニ於テ減少セルヲ見ル以下出品ニ對スル概評ヲ試ムヘシ

今回ノ出品ヲ通覽スルニ出陳數ノ著シク減少セルハ本會出品牛ノ定數上已ムヲ得サル所ナルヘシト雖其ノ品質前回ニ比シテ甚シク遜色アルノミナラス最近數回ニ於ケル中國六縣聯合共進會ノ出品中最モ振ハサルノ狀況ヲ呈シ中國諸縣ニ於ケル乳用牛ノ粹ヲ集メタル出品トシテ聊寂莫ノ感ナキ能ハサリシハ本邦斯業上大ニ遺憾ニ堪ヘサル處ナリ蓋シ近時ニ於ケル天災ニヨリテ鐵路不通ノ結果ヲ生シ乳用牛ノ運輸上殊ニ著大ノ不便ヲ伴ヒタルノ事情アリ其ノ出陳上素ヨリ酌量ノ餘地尠カラサルヘシト雖聯合各縣ニ於ケル乳用牛ノ生産ハ將來大ニ奮起努力ヲ要スルコト切實ナルヲ感セシム今先ツ「エーアシャー」種及其ノ雜種ノ出品ニ付思考スルニ牝牛ノ品質概シテ劣惡ニシテ牝牛ニ於テハ稍薦賞スヘキモノアリタリト雖之ヲ概説スルトキハ體軀ノ著シク矮少ナルコト、牝牛ノ後軀殊ニ乳房乳頭ノ發育頗ル不

良ナルコトヲ全體ニ通シタル缺點トシ而モ一トシテ本種特秀ノ形質ヲ備ヘ特異ノ光彩ノ發揮セルモノヲ見ルコト能ハサルノ景況ニシテ之ヲ前回ノ出品ニ比較スルトキハ品質懸隔ノ度頗ル甚大ニシテ轉タ今昔ノ感ナキ能ハサルナリ、今回本種ヲ出陳セルハ鳥取、岡山ノ二縣ヲ除キタル四縣ニシテ出陳數ノ順位ハ鳥根縣、廣島縣、兵庫縣、山口縣トナリ其ノ雜種ヲ合算スルトキハ山口縣最モ多クシテ首位ヲ占ム、鳥根縣ノ出品ハ五頭ニシテ孰レモ其ノ外貌粗野ニシテ品位ニ乏シク殊ニ牝牛ニアリテハ皮毛頗ル粗剛ニシテ乳房其ノ他ニ於テ殆ト乳徵ヲ認ムルコト能ハス本種飼養ノ目的上充分徹底セサル所アルヘキヲ思ハシム、廣島縣ハ亦五頭ノ出陳ナレトモ概シテ乳牛トシテノ價值良好ナラサルモノ、ミニシテ前回ノ出品ニ比シ到底同日ニ談スヘキモノニアラス、兵庫縣ノ出品ハ四頭ナリ其ノ體軀ノ構成孰レモ矮小薄弱ナルノミナラス泌乳器官ノ發育亦不良ニシテ曩日ニ於ケル同縣ノ出品トハ霄壤モ管ナラサルノ差異アリ實ニ近年同縣下ニ於ケル本種牛落魄ノ景況ヲ證スルモノニシテ關西中國地方ニ於ケル本種優良牛ノ產地トシテ多年其ノ弱ヲ唱ヘタル本縣產牛業上大ナル恨事ト謂ハサルヘカラス切ニ同縣官民諸氏ノ反省ヲ要スヘシ、山口縣ノ出品ハ牝牛十一頭ニシテ今回出品ノ「エーアシャー」雜種ハ獨リ本縣ニ限レリ本縣ノ出品ハ格段秀逸ノモノナク又中ニハ其ノ乳房ニ顯著ナル缺點ヲ有セルモノヲ見タリト雖全般ニ亘リテ品質良ク整一シ而モ概ネ乳用牛タルノ素質ニ富ミ之ヲ他縣ノ出品ニ比スレバ其ノ形質上優越スル處尠カラズ本縣ノ出品トシテハ近來稀ニ見ルノ盛況ヲ呈セリ抑同縣ニ於ケル本種牛ノ改

三五

良蕃殖上積年ノ苦心畫策ハ茲ニ漸ク其ノ曙光ヲ放テルモノト謂フヘキモノナリ
 次ニ「ホルスタイン」種及其ノ雜種ノ出品ヲ稽查スルニ大體上前者ニ比シテ稍優レ殊ニ牡牛ニ於テハ一
 二優秀拔群ノモノヲ見タリト雖之ヲ前回ニ比較スルトキハ尤物ニ乏シク又一般品質上到底比肩スルコ
 ト能ハサルモノニシテ即チ牡牛ニ於テハ幼時ニ於ケル育成方法ノ失宜ニヨリテ軀幹矮縮シ四肢ノ徒ニ
 膨大ナルモノアリ、牝牛ニアリテハ其ノ體型及資質ニ於テ良ク本種ノ特徴ヲ具備スルモノ頗ル尠少ニ
 シテ或ハ頸ノ重厚ニシテ腹ノ緊縮シタルモノ或ハ乳房乳頭ノ發育不良ニシテ乳微ノ著明ナラサルモノ
 等少カラス甚シキハ體ノ構成粗野ニシテ粗剛ナル皮毛ヲ有シ乳用ニシテノ利用上其ノ價値ヲ疑フヘキ
 ノ出品アリ畢竟本種ノ特徴トスル其ノ雄大ナル外貌ト乳房乳頭乳脈ノ異常ナル發達トハ今回ノ出品上
 殆ト之ヲ認識スルヲ得サルノ狀況ニシテ聯合各縣ニ於ケル本種牛利用ノ程度ハ未タ甚タ低ク其ノ改良
 ノ前途ハ尙頗ル遼遠ナリト云フノ概アリ今回本種ヲ出陳セルハ兵庫縣、島根縣以外ノ四縣ニシテ岡山
 縣ノ十二頭ヲ最多トシ次ハ廣島縣ノ七頭、鳥取縣ノ五頭ニシテ山口縣ノ三頭ヲ最少トス、岡山縣ハ由
 來本邦屈指ノ本種牛產地ニシテ優良牛ノ生産上多年其ノ名聲ヲ博セル處ナレトモ今回ノ出品ハ牝牡共
 ニ其ノ形質良好ナラス往々ニシテ乳用牛トシテノ素質ヲ缺キ甚シキハ肉牛ノ如キ形質ヲ備ヘ到底乳牛
 トシテ首肯シ難キモノアリ之ヲ前回ノ出品ニ比較聯想スルトキハ實ニ隔世ノ感ヲ強フセシム蓋本縣ハ
 夙ニ本種ノ改良蕃殖ニ努力スルト雖專ラ優良牝牛ノ生産供給ニノミ耽リテ本種飼養本來ノ目的タル其

ノ乳ノ利用ニ努メヌ其ノ措置上未タ充分ナラサル處アリ今回ノ成績亦茲ニ胚胎シタルモノナリトノ譏
 ハ到底之ヲ免ル、コト能ハサルヘシ、廣島縣ノ出品ハ七頭ニシテ牡牛一頭ノ獨リ優秀ナルノ外他ハ概
 ネ體型不整ニシテ其ノ利用價値亦一般ニ良好ナラサルモノノ如シ、鳥取縣ハ牝牛五頭ノ出陳ナリ僅ニ
 一頭ノ薦賞ニ値スルモノアルノ外他ハ概ネ乳微ニ乏シク其ノ體軀弛緩セルノ雜品ナリ蓋本縣ニハ本種
 ノ飼養ニ好適スル地方アリテ早ク優良牛ノ蕃殖ヲ企テ純正ナル血統亦決シテ乏シキニアラサレトモ本
 種ノ利用上未タ全カラサル處アルカ如ク良ク其ノ特長ヲ發揮スルノ域ニ進マサルハ遺憾ナルコトト謂
 フヘシ、山口縣ハ僅ニ三頭ノ出陳ナレトモ牝牡共ニ尤物ト稱スヘキモノアリ稍意ヲ強フスルニ足レリ
 ト雖牡牛ニ於テハ胸狹クシテ稍雄相ニ乏シク牝牛ニ於テハ臀ノ發育不充分ニシテ乳房亦大ナラサルノ
 憾アリ將來特ニ注意スベキノ要點ナリ
 要之聯合各縣ニ於ケル乳用牛ハ「エーアシャー」種ト謂ヒ「ホルスタイン」種ト謂ヒ共ニ其ノ飼養近時甚
 タ振ハサルノ狀況ニアルモノノ如ク今回出品ノ成績ハ著シク尤物ニ缺乏シ而モ乳用牛トシテ充分其ノ
 用途ニ利用セラレサルノ跡ヲ示セルカ故ニ將來益優良種牝牛ヲ充實スル等愈々牛體ノ改善ニ努力スル
 ト共ニ蕃殖、飼養管理等産牛ノ各技ニ亘リテ諸種ノ改善策ヲ講究シ殊ニ乳用牛トシテ乳ノ充分ナル利
 用ヲ圖リテ大ニ其ノ利用性ヲ増進シ以テ斯業ノ發展ヲ期スルコト緊要ナリ

畜産製造品審査報告

審査官 畜産試験場技師 飯田 吉英

畜産製造品ノ出陳ハ鳥取及岡山ノ二縣ヲ除キ兵庫、島根、廣島及山口ノ四縣ニシテ煉乳五點、「バター」七點、乳菓二點、牛肉大和煮罐詰三點、牛肉味噌漬二點、「ハム」三點、「ベーコン」一點、「ソーセイジ」一點即チ合計八種二十四點、其ノ出品人員二十名ナリ之ヲ種類別及縣別ニ表示スルトキハ左ノ如シ

種類	縣			
	兵庫	島根	廣島	山口
煉乳	二	一	一	一
バター	五	一	一	一
乳菓	一	一	一	一
牛肉大和煮罐詰	三	一	一	一
牛肉味噌漬	二	一	一	一
ハム	二	一	一	一
ベーコン	一	一	一	一
ソーセイジ	一	一	一	一
計	二四	五	三	二

本回ノ出品ハ前回ニ比シ其ノ種類點數及出品人員尠少ニシテ中國六縣聯合畜産共進會ノ出品トシテハ甚タ不振ノ状態ニ在ルヲ遺憾トス

出品ノ審査ハ附點法ヲ採リ肉眼試食及理化學的ノ檢定ヲ以テ各品各個ニ就キ詳細ニ評點シ且ツ出品人ノ營業狀態及功績等ヲ參酌シテ其ノ優劣ヲ決定シ二等賞ニ二點、三等賞ニ三點、四等賞ニ五點、合計十點即チ出品人員ニ對シ五割ノ擬賞ヲ行ヒタリ之ヲ縣別ニ表示スルトキハ左ノ如シ

縣名	出品點數	出品人員	擬賞等級				計	出品人員ニ對スル擬賞割合
			一等賞	二等賞	三等賞	四等賞		
兵庫	三	二					四、五五	
島根	五	五					六、〇〇	
廣島	二	一					三、三三	
山口	二	一					一〇、〇〇	
計	二四	二〇	二	一	三	五	一〇	

左ニ出品ノ各種ニ就キ概評ヲ試ムヘシ煉乳ハ兵庫縣二點、島根縣一點、廣島縣一點、山口縣一點ノ出品アリ、兵庫縣出品ノ中一點ハ品質頗ル佳良ナルヲ認メタリト雖其ノ他ニ於テハ尙色澤稠度ノ不良ナルモノ、結晶ノ粗大ナルモノ、凝塊ヲ存セルモノ、香氣ヲ缺ケルモノ等アリテ將來改良ノ餘地大ナルモノアルヲ認ム

「バター」ハ兵庫縣五點、廣島縣一點、山口縣一點ノ出陳アリテ出品數ニ於テ最高位ヲ占ムト雖其ノ品質ニ至リテハ前回ニ比シ大ナル進歩ヲ認ムル能ハサルヲ遺憾トス即チ酸酵不良ナルモノ、煉壓過度ナルモノ、水分過多ナルモノ、鹹味強キニ失スルモノ等アリ加フルニ何レモ「レーベル」ノ英文ニ多少ノ誤字ヲ認メラルルガ如キハ其ノ體裁ヲ失墜セシムルコト尠ナラズ將來一層ノ注意ヲ要スルモノトス乳菓ハ兵庫縣一點、廣島縣一點ノ出品アリ其ノ風味稍佳良ナリト雖乳汁ヲ加用セル乳菓トシテハ其ノ特質尠ナルノ憾アリ尙幾多ノ研究ヲ要スベシ

牛肉大和煮鐘詰ハ島根縣ノ出品僅ニ三點ニシテ本邦牛肉鐘詰界ノ權威タル廣島縣ノ出陳皆無ナルヲ大ナル遺憾トス本回ノ出品ハ肉ノ切截、味付、填充法ノ不良ナルノミナラズ製罐ノ技術並「レーベル」ノ意匠等ニ於テ尙改善ヲ要スル處大ナリ

牛肉味噌漬ハ兵庫縣ノ出品二點ニシテ依然トシテ耐久性ニ乏シキヲ缺點トス宜シク速ニ長期貯藏ノ法ヲ講シ其ノ需要増進ヲ圖ルヘシ

「ハム」ハ兵庫縣二點、島根縣一點ノ出品アリ兵庫縣出品ノ中一點ハ風味佳良ニシテ海外輸出用トシテ好適ス、其ノ他ノ出品ハ鹽漬、燻烟及包裝法ニ於テ缺點尠カラズ

「ベーコン」ハ兵庫縣ノ出品一點ナリ原料豚肉ノ品質不良ニシテ肉ノ切截法亦宜シカラズ將來此二點ニ就キ注意ヲ怠ラズンバ其ノ品質ノ向上期シテ待ツベキナリ

「ソーセージ」ハ兵庫縣ノ出品一點ナリ其ノ品質稍々佳良ナリト雖海外輸出用品トシテハ尙一層ノ改善ヲ要スルモノアリ

之ヲ要スルニ本回出陳ノ畜産製造品ハ之ヲ前回ニ比シ優良品ニ乏シト雖亦劣等品ト見做スベキモノ少ク其ノ品質概シテ佳良ナルヲ認メタルハ蓋斯業ニ於ケル進歩發達ノ狀ヲ示セルモノナリト信ズ然リト雖將來改善ヲ要スル諸點ヲ有スルコト前既ニ述フル處ノ如シ斯業者宜シク審査ノ成績ニ鑑ミ内外ノ乳肉製造品需給ノ趨勢ヲ察知シ大ニ發奮努力スル處ナカルベカラズ

畜産ニ關スル農具及器具器械審査報告

審査官 農事試驗場技師 廣 部 達 三

畜産ニ關係アル農具及器具器械ニ於ケル今回ノ出品點數ハ本會開催前天災ノ爲メ輸送運搬ノ不便ナリシ結果僅ニ二十三點ニシテ之ヲ前回ニ比スレハ其ノ三分ノ一ヲ滿タササリシハ大ニ遺憾トスル處ナリ而シテ耕作ニ關スル器具器械類、家畜飼養ニ關スル器具器械類、家畜ニ附隨スル器具器械類等ノ何レノ類別ニ於テモ材料製作並ニ考案構造ニ於テ殊ニ改善ヲ加ヘ農業界ニ於ケル優物トシテ之ヲ最高級ニ列セシムルモノ一タニ無カリシト雖徒ラニ考案ニ走り構造ノ不合理的ニシテ農家一般ノ實地使用ニ堪ヘサルモノノ無カリシハ中國六縣ニ於テ概シテ農業用器具器械カ稍實用的ニ或ハ經濟的ニ變化改進シツ、アルヲ示シ中國ニ於ケル農業發達進歩カ近時健實ナル基礎ノ上ニ築カレツツアル一證タルヲ疑ハサルモノナリ

今本會ノ出品ヲ縣別、種類別ニ表示セハ左ノ如シ

種類別	縣別
耕作ニ關スル器具器械	廣 山 三
家畜飼養ニ關スル器具器械	廣 山 一
家畜ニ附隨スル器具器械	廣 山 一
計	廣 山 四

テ先端ハ犁轡トナリ一尺一寸五分ノ高サニ在リ、犁梢ハ長サ三尺九寸、厚三寸ノ杉材ヨリナリ前巾四寸五分、裏巾三寸トシ下部ハ瓣ノ支柱トナリ其ノ底部ハ長サ七寸五分、巾三寸五分ノ犁底トナリ之ニ巾一寸二分ヲ有スル溝狀鑄鐵底金ヲ附着セシメ以テ其ノ磨滅ヲ防クト同時ニ摩擦抵抗ヲ減セシム、犁身ハ幅一寸九分、厚サ七分ノ白樺製トシ其ノ高サ一尺八寸ニシテ犁轡ノ後端ヨリ九寸五分ニ於テ轡ヲ貫キ之ヲ「ボート締」トナス、柄ハ兩握リトシ左柄ハ犁梢ノ先端ヲ以テ之ニ代ヘ右柄ハ犁梢中央側面ヨリ突出セル棒狀トシ兩握リノ間隔二尺一寸アリ、回轉ノ際使用スル取手ハ二尺三寸ノ高サヲ有ス、本器ヲ使用シ耕深ヲ調節スルニハ犁轡ノ傾角ヲ變化セシムルニ依ルモノトシ殊ニ見ルヘキ考案ナク其ノ構造モ亦普通ナルモノニ屬シ名稱ノ如キ深耕ヲ目的トスル形體ヲ有セスト雖材料製作不可ナラス抵抗ノ中心ノ位置モ稍々適當ニシテ比較的安定ノ程度良キ部ニ屬シ、第一圖及第二圖ニ見ルカ如ク其ノ抵抗線圖ニ於テハ高低ノ變化左程急激ナラサルハ稍々使用シ易キヲ證シ粘質土濕田ニ於ケル試驗ノ結果其ノ平均抵抗ハ壱斷面一平方寸ニ對シ三・〇四斤ノ如キハ先ツ抵抗ノ比較的少キモノニ屬ス以上記載セシ理由ニ依リ三等賞一席ニ擬賞セリ

(二) 改良仁多犁

島根縣仁多郡布勢村 友塚友太郎

肥後②犁ト同様ナル中底犁ニ屬シ鑄鐵共ニ鑄鐵製トス鑄鐵ハ長サ七寸五分、巾六寸五分ヲ有スル普通形ニシテ其ノ兩邊抱角約九十度トシ犁底面ト約十七度ノ傾角ヲナス、瓣ハ下巾五寸三分、上巾七寸七分其ノ長サ一尺二寸五分ニシテ稍々圓狀ニ近キ一樣ナル曲度ヲ保チ犁梢下端ニ箆着ス、犁梢ハ厚サ二寸七分ノ杉材ヨリ成リ前巾三寸五分、後巾二寸二分其ノ長サ三尺六寸ニシテ犁床面ト約五十三度ノ傾角ヲナシ其ノ先端ハ徑一寸二分ノ圓形ニ削ツテ左把トナス、又犁梢中央側面ニハ之ト約六十度ノ交角ヲ以テ長サ二尺餘ノ右把ヲ出シ其ノ兩握リノ間隔一尺八寸アリ、犁底ハ長サ一尺二寸ニシテ其ノ底面ニハ中央ニ溝條ヲ備フル巾二寸三分、厚七分ノ鑄鐵底金ヲ螺止シ以テ其ノ磨滅ヲ防ク、犁身ハ鬼櫛材ヲ用ヒ巾一寸九分、厚七分トシ其ノ下端ハ犁梢ノ中央部ニ箆入固着セラレ上端ハ犁轡ヲ貫通シ之ヲ固定スルニ二三個ノ楔ヲ以テセリ、犁轡ハ四尺四寸ノ長ヲ有スル野角杉材ヨリナリ巾二寸三分、厚二寸七分トシ其ノ傾角十三度ヲ爲シ其ノ先端ニハ從來ノ如キ單一ナル轡ヲ付シ犁底面ヨリ一尺三寸ノ高サニ在リ

本器ハ壱ノ反轉不可ナラス壱ノ碎度亦中庸ニシテ殊ニ粘土質ニ適シ其ノ抵抗ハ粘質土濕田ニ於テ實驗セシニ壱斷面一平方寸ニ對シ三、〇一斤ヲ得タリ而シテ審査ノ結果三等賞ニ擬シタリト雖第三圖及第四圖ニ見ルカ如ク東田式深耕犁ノ夫レニ比シ抵抗線圖ハ其ノ高低ノ變化稍々急ナルハ使用上彼ニ比シ不安定ノ度多キヲ示セルモノニシテ之ハ其ノ作用點ノ位置適當ナラサルノ構造形體ヲ證シ加フルニ材料及製作良好ト云ヒ難ク其ノ結合部ニ於テ不完全ナル點多ク肥後②犁ニ於ケル金屬部ヲ木製ニ代ヘ其ノ價格ヲ低廉ナラシメントシタルハ却ツテ破損ヲ招キ不利益ナルモノナレハ此等ヲ改良シ耐久性ヲ増

サシムルト同時ニ他ノ主要部ヲモ改善シ更ニ抵抗ノ少ナカラシムルヲ欲スルモノトス

(三) 岡田犁一號形

岡山縣真庭郡八束村 岡田 彌 宗

全長七尺八寸ヲ有スル廣島型犁ニ類似シ鑿ハ地盤ト約二十度ノ傾角ヲ保チ犁床ニ附着シ鑄鐵製ニシテ兩邊弧狀ナラサル三角形トシ頂角八十度、巾八寸三分、高サ八寸五分アリ鑿ハ鍊鐵板ヨリナリ其ノ形狀長方形ニ近ク對角線ノ方向ニ曲變シ其ノ長サ一尺三寸、上巾六寸五分、下巾五寸五分其ノ中央部ニ於テ七寸ノ巾ヲ有シ犁身ヨリ連ル鐵片ノ位置ノ變化ニヨリ鑿面ノ勾配及傾角ヲ調節シ得ル裝置ヲ備フルト雖鑿ト鑿トノ移リ急激ニシテ且ツ鑿ノ底邊長ハ鑿ノ下巾ヲ餘ス事三寸三分ナルヲ以テ左右約一寸七分ノ過出ヲ見ルニ至レリ、犁轅ハ四尺七寸ノ長サヲ有スル樅材ヨリナリ二寸一分、厚二寸三分トシ其ノ傾角約二十八度ヲ示シ其ノ先端ニ長サ二尺八寸ノ引木ヲ附ス、犁身ハ巾八分、厚二寸五分ヲ有スル樅材ニシテ犁轅ノ後端ヨリ一尺三寸ノ所ニ於テ之ヲ貫通シ長サ三尺八寸アリ犁梢ト其ノ中央部ニ於テ結合シ更ニ其ノ後端ハ犁床ニ固定ス犁床ハ長サ一尺八寸、厚サ二寸五分、上巾三寸トシ其ノ底部ニハ巾五分、厚サ一分ノ鐵片二條ヲ約八分ノ間隔ヲ以テ釘着セシム

本器ハ長底犁ニ類スル片手犁ニシテ其ノ材料及製作良好ト認メ難ク極ノ反轉モ亦充分ナラサレトモ鑿ノ勾配及傾角ヲ變化シ得ル考案ハ稍々見ルヘキモノトシ第五圖ニ於テ見ルカ如キ抵抗線圖ノ高低ハ其ノ變化中庸ニ屬シ其ノ抵抗ハ粘質土濕田ニ於テ壘斷面一平方寸ニ就キ三、〇三疋トシ其ノ結果第三等

賞ニ擬シタリト雖鑿ノ曲度ヲ更ニ研究シ又鑿トノ移リヲ改良シ使用ノ尙容易ナルヲ切望スルモノナリ

(四) 岡田犁二號形

岡山縣真庭郡八束村 岡田 彌 宗

床長七寸ヲ有スル短小中底犁ニ屬シ鑿共ニ鑄鐵製トス鑿ハ兩邊殆ント直線ナル等邊三角狀ヲナシ八十度ノ頂角ヲ有シ底邊七寸五分、高サ八寸五分アリ而シテ鑿面ハ約十九度ノ傾角ヲ以テ犁床ノ下端部即チ犁床ニ箠着ス、鑿ハ上位部凸狀セル長方形ニシテ其ノ長一尺三寸トシ鑿トノ移リ少シク急激ナルノ憾アリ、犁底ハ長サ七寸、上巾五寸、下巾一寸八分ニシテ其ノ底面ニ二條ノ鐵片ヲ附スル事前者ト異ナラス而シテ普通ノ抑持立犁ト同様ニ犁底ト犁梢トハ同體ニシテ犁梢ノ長サ三尺九寸五分トス、犁轅ハ巾二寸一分、厚サ二寸二分、長サ四尺四寸ヲ有シ地盤トノ傾角約二十五度トス、犁身ハ厚サ八分、巾二寸五分ノ樅木ヨリナリ犁轅ノ後端ヨリ一尺二寸ノ所ニ於テ之ヲ貫キ楔止セラレ

本器ハ材料良好ナラス其ノ形狀ニ於テモ殊ニ記スヘキ點ナリ其ノ抵抗ハ前者ヨリ大ニシテ壘斷面一平方寸ニ對シ三、〇八疋ヲ示シ使用難易ノ如何ニ於テモ前者ニ劣リ第六圖ニ見ルカ如ク線圖ノ高低モ比較的大ナルモノナレハ先ツ作用點ノ位置ヲ適當ナラシメ安定ノ度ヲ増サシメ且ツ鑿、鑿ノ形狀ヲ改善シ實地使用ニ適合スル樣製作スルノ要アリ

(五) 新井式改良犁(兩手式)

岡山縣都窪郡加茂村 新井 虎 太郎

全形中庸ナル廣島型中底犁ニシテ鑄鐵製ナル鑿ハ等邊三角狀ヲナシ其ノ頂角約八十度トシ高サ及邊共

ニ六寸八分アリ而シテ犁床面ト二十五度ノ傾角ヲ以テ犁床ニ嵌着セラル辭モ亦鑄鐵製ニシテ其ノ曲度一様ニシテ圓弧ニ近キモノトシ其ノ長サ一尺三寸アリ、辭ノ上巾ハ八寸アレトモ下巾ハ三寸三分ナルカ故ニ龜巾六寸八分ニ對シ過狹ニ失スルノ憾アルノミナラス龜トノ移リ亦良好ナラサルモノトス、犁轅ハ長サ四尺四寸ニシテ地盤トノ傾角約二十度ヲ以テ前方ニ垂レ巾二寸四分、厚サ二寸七分ノ杉材ヨリナル、犁梢ハ巾二寸、厚二寸、長サ三尺六寸五分トシ其ノ中央右側面ヨリ右柄ヲ突出セシム、左柄ハ犁梢ノ先端ヲ削リ其ノ握リト爲ス事普通ノ犁ニ於ケルト同様ナリ、犁身ハ六分九鐵棒ニシテ長サ一尺トシ其ノ上端ハ螺子トナリ犁轅ヲ貫キ螺母ヲ以テ轅ニ締結セラレ其ノ下端ハ犁梢正面中央部ニ固定セリ、犁床ハ長サ一尺五分、厚サ二寸五分、上巾四寸ニシテ其ノ底面巾ハ三寸六分アリ而シテ之ニ巾一寸ノ溝ヲ有スル鑄鐵底金ヲ附着セシム、兩柄握リ間隔ハ比較的狭クシテ一尺六寸トス

本器ハ材料製作不良ナラサレトモ辭ノ曲度一様ニ過ギ墜ノ反轉スルニ當リ多少不自然ナルノ憾ナキニアラス、加フルニ作用點ノ位置不適當ニシテ尙且辭ト龜トノ移リ良カラサルカ爲メニ第七、第八、第九圖ニ見ルカ如ク抵抗線ノ高低變化大ニシテ從ツテ不安定ノ程度多ク使用上困難ナルモノトス而シテ其ノ抵抗モ粘質土濕田ニ於テ斷面一平方寸ニ對シ三、二七斤ノ如キ比較的大ナルモノナルハ今後大ニ改良ヲ必要トスルモノナリ

(六) 犁

鳥根縣能義郡宇賀莊村 原 貞三 郎

本器ハ前記ノ新井式改良犁ニ類似シ犁床面ト傾角約三十度ヲ有スル龜ハ鑄鐵製ニシテ巾六寸五分、長サ六寸五分アリ、其ノ頂角ハ約百度ノ等邊三角狀トス辭ハ其ノ長サ一尺三寸五分ノ軍扇狀ヲナシ上巾八寸、下巾六寸五分トシ其ノ曲度ハ稍一樣ニシテ長サ一尺ニツキ一寸二分ノ割合ヲ以テ弧狀面ヲ爲セリ、犁轅ハ巾二寸、厚サ二寸五分ノ野角杉材ヨリ成リ地盤ト約十八度ノ傾角ヲナシ其ノ長サ四尺四寸トス、犁身ハ前者ト同シク六分九鐵棒ニシテ其ノ下端ハ長サ三尺八寸、巾厚共二寸七分ノ梢犁ニ固着シ其ノ上端ハ螺子トナリ犁轅ヲ貫キ以テ之ヲ螺止セリ、犁底ハ長サ一尺二寸、巾三寸五分、厚サ二寸五分トシ其ノ底面ニ馬蹄形鐵片ヲ着ク

本器ハ全形中庸ナル廣島型中底犁ニ屬シ材料製作不可ナラス又主要部ノ一タル辭ノ曲度敢テ不良ト認メ難ク且各部ノ結合部ニ於テハ鐵類ヲ利用シ其ノ強度ヲ計リ或ハ犁轅先端ヲシテ左右ニ變化調節シ以テ耕幅ヲ加減シ得ヘキ裝置アルカ如キハ稍改善セラレタル點ナリト雖辭ノ取付位置及犁床ノ位置等ハ牽引方向及作用點ト遠カリ爲メニ使用上不安定ノ度多ク其ノ抵抗モ他ノ何レニ比シ大ナルカ故ニ本器ハ各部ノ改良ヨリモ寧ロ構機上綜合的ニ改善ヲ計ルヲ要シ實用的ナルヲ欲スルモノトス

以上記載セル犁及參考トシテ磯野式青松犁、洋式吉田片手犁及稻垣博士ノ考案ノ下ニ製作シタル墜割付吉田片手犁即チ歐米ニテ從來考案セラレタルひんこトるたー付犁ニ就キ鳥根縣八東郡法吉村字春日東側ニ於ケル粘質濕田ニテ其ノ抵抗ヲ實測シタル結果ヲ表示セハ左ノ如シ

但此ノ濕田ノ表土ハ四寸五分内外トシ畜力ハ牛及馬ヲ使用シ其ノ作業ニ於テ牛馬ノ牽引歩行ノ至難ナル場合ニシテ動力計ハ小官ノ改良考案ニ依リ農事試験場ニテ製作シ天秤装置ニヨリ其ノ張力ヲ試驗シタルモノトス

品名	平均耕深(寸)	平均耕幅(寸)	平均(平方寸)面積	平均耕起率(%)	平均耕起面積	平均(全)抵抗(疋)	耕起面積ニ對スル抵抗	抵抗線圖番號
岡田犁一號	四、八	七、五	三六、〇〇	九〇	三、四〇	九八、〇	三、〇三	第五圖
岡田犁二號	五、一	七、五	三八、二五	九〇	三、四〇	一〇六、〇	三、〇八	第六圖
東田式深耕犁	五、一	六、二	三一、六二	九〇	二八、四六	八六、〇	三、〇三	第一圖
東田式深耕回	五、八	六、三	三六、五四	九〇	三、九〇	一〇〇、〇	三、〇五	第二圖
改良仁多犁	五、三	六、一	三三、〇三	九〇	二八、八〇	八八、〇	三、〇五	第三圖
改良仁多犁	六、三	六、五	四一、〇〇	九〇	三六、八〇	一一〇、〇	二、九八	第四圖
新井式改良犁	五、九	七、五	四四、二五	九〇	三九、八〇	一一〇、〇	三、二七	第七圖
新井式改良犁	六、五	七、七	五〇、〇五	九〇	四五、〇〇	一四九、〇	三、三三	第八圖
新井式改良犁	六、〇	六、二	三七、二〇	九〇	三三、四〇	一〇七、〇	三、三三	第九圖
磯野式青松犁	六、四	六、五	四一、八五	九〇	三七、七〇	一〇九、〇	二、八八	第十圖
洋式吉田片手犁	五、五	六、〇	三三、〇〇	一〇〇	三三、〇〇	一〇八、〇	三、二七	第十一圖
壱割付洋式吉田犁	五、二	五、七	二八、五〇	一〇〇	二九、六〇	一〇五、〇	三、五五	第十二圖

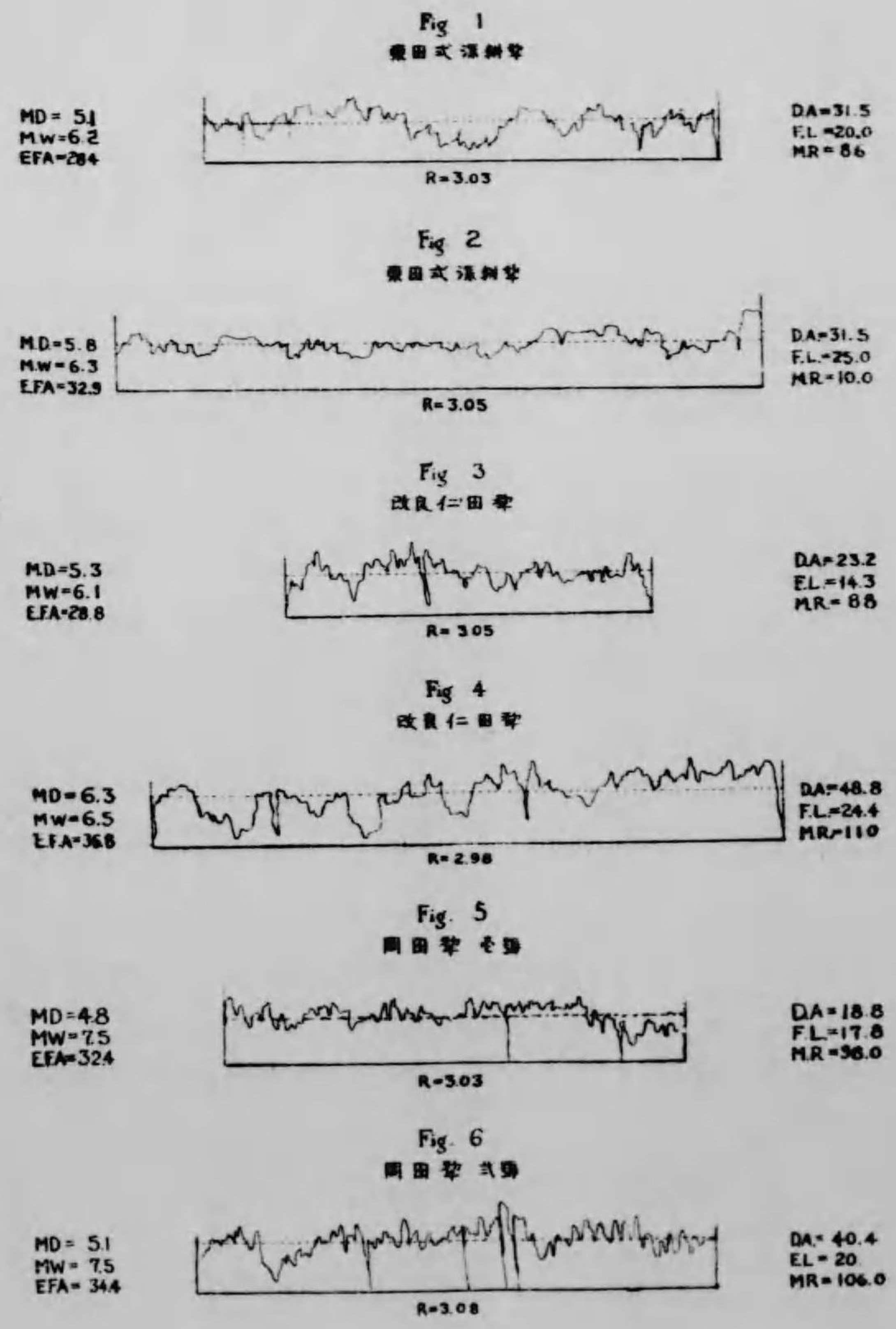
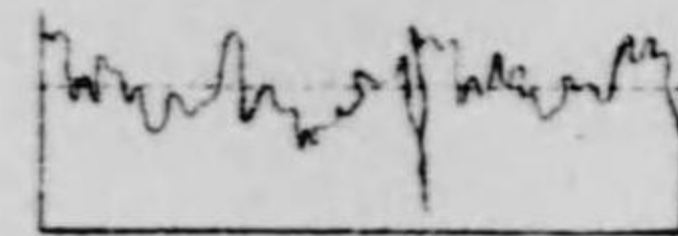


Fig. 7

新井式改良管

MD=5.9
MW=7.5
LFA=398



R=3.27

DA=24.7
FL=10.0
MR=130.0

Fig. 8

新井式改良管

MD=6.5
MW=7.7
EFA=450



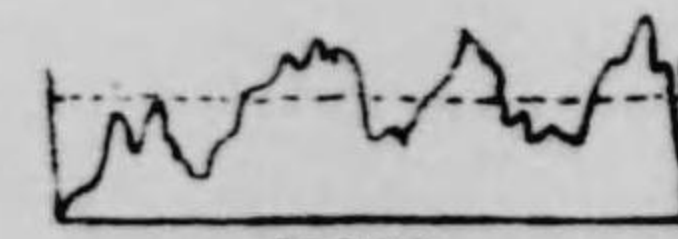
R=3.32

DA=28.1
FL=14.5
MR=149.0

Fig. 9

新井式改良管

MD=6.0
MW=6.2
LFA=334



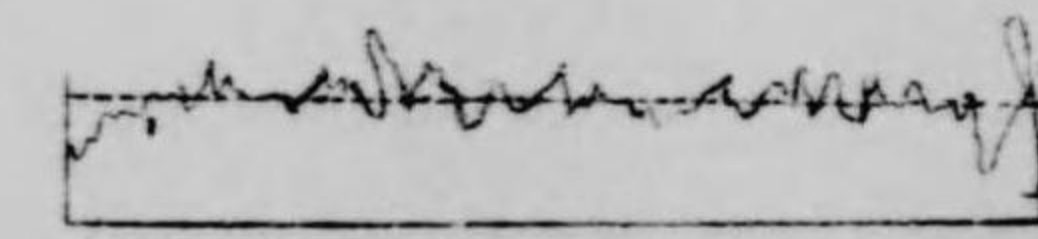
R=3.22

DA=19.9
EL=10.00
MR=107.0

Fig. 10

青松管(4)

MD=6.4
MW=6.5
EFA=37.7



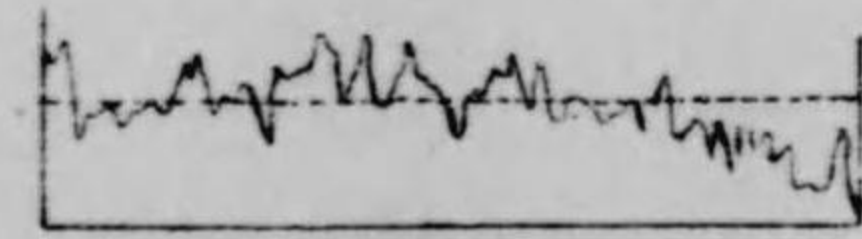
R=2.88

DA=31.9
FL=15.8
MR=109.0

Fig. 11

吉田管(4)

MD=5.5
MW=6.0
EFA=330



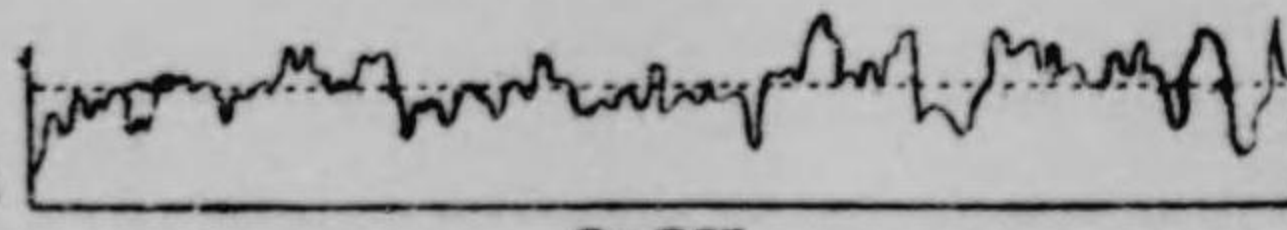
R=3.27

DA=19.9
FL=13.0
MR=108

Fig. 12

吉田管 別録井子

MD=5.2
MW=5.7
EFA=296



R=3.55

DA=39.7
FL=20.4
MR=105.0

二 家畜飼養ニ關スル器具及器械

本類ニ屬スルモノハ其ノ出品ハ出品總數ノ六割一分ニ當リ兵庫縣ハ其ノ四割二分五厘ヲ占メ鳥根縣ハ其ノ三割五分五厘トシ廣島、岡山、鳥取ノ各縣ハ何レモ七分ノ出品率ヲ示ス而シテ本類ニ於テハ收穫調製用、蕪秣截斷用、家畜育成用ノ三部ニ大別セラレ各部ニ就キ其ノ概評ヲ試ムレハ次ノ如シ

甲 收穫調製用器具器械

本部ノ出品ハ七點トシ鎌ノ六點、脱穀器ノ一點之ナリ、鎌ハ元來其ノ用途、使用法ニヨリ其ノ形狀及大サヲ異ニスルト雖切斷ノ目的ヨリ其ノ材料製作ヲ殊ニ選定考慮セサルヘカラス而シテ其ノ鐵材ハ能ク精鍊シ刃部ハ銳利ニシテ切斷ノ目的ヲ充分ニ達セシムルヲ要スレトモ切斷セララルヘキ物體ノ種類ニヨリ鋼焼入ノ程度ニ多少ノ差異ナカルヘカラス例ヘハ草本ノミヲ切取ル場合ニ於テハ鋼ノ焼入ヲ多少軟モ敢テ不可ナシト雖竹木ヲ野草ト共ニ刈取ルモノニ於テハ前者ヨリ鑢面ノ肉稍厚ク鋼ノ焼入ヲ多少軟ニスルヲ得策トス、兵庫縣美嚢郡別所村田中春吉ノ草刈鎌イ號ハ其ノ形狀及材料不可ナラス且ツ其ノ焼入程度モ其ノ目的ニ適シ製作モ亦見ルヘキ點アルヲ以テ第四等賞一席ニ擬賞セリ然レトモ他ノ五點ハ材料製作殊ニ見ル點ナク其ノ鑢面ノ反リニ改良スヘキ點ナキニアラサルモノナリ

脱穀器ニ於テハ岡山縣岡田彌宗ノ岡田式打穀器ノミトス、本器ハ廻轉式脱穀器ニシテ「スレッツシャ」ノ主要部ヲ採リタルモノトシ此ノ主要部ノ急激ナル廻轉ニ依リ穀粒ヲ打チ落スノ裝置ナリ而シテ本器

ノ主要部タル廻轉胴ハ直徑一尺、長サ一尺四寸トシ之ニ母線ニ添へ八列ノ指杆ヲ平列セシム、指杆ハ即チ穀粒ヲ打チ落スノ作用ヲナス要部ニシテ厚サ一分、巾三分ノ鐵片ヨリナリ取付角二十三度乃至二十五度ヲ以テ二寸三分ノ長サヲ有スレトモ有効長二寸トシ一列ニ對シ五本ノ指杆ヲ附着セリ、此等指杆ノ配列狀態ハ稍々螺旋狀ノナリト雖廻轉ノ際指杆ハ一定ノ間隔ヲ等分ニ保ツヲ得ス、「ドラム」ノ兩側ハ木製板ヲ以テシ其ノ軸ハ五分丸鐵棒トシ押シ螺子ヲ以テ「ドラム」ニ固定セシメ本軸ノ一端ニハ調革ヲツケ他端ニハ徑一寸六分五厘ノ小齒車ヲ附着セシム而シテ之ニ啮合スルニ足踏曲柄軸ニ取付ケタル徑八寸五分ノ齒車ヲ以テセルカ故ニ「ドラム」ノ廻轉數ハ足踏廻轉ノ約五倍ニ相當シ從ツテ一分間ニ二百五十乃至三百ノ廻轉數トナルヘシ、從來稻ノ脫粒ニ於テハ「ドラム」ノ廻轉數ハ一分ニ四百以上ヲ要スルヲ以テ見レハ本器ノ廻轉ハ稍少ナキノ憾アリ若シ無理ニ本器ヲシテ四百以上ノ廻轉ヲ爲サシムルニハ一分間ニ七十回ノ足踏ヲ爲ササルヘカラス之レ一般使用者ノ過勞ニ失スルモノニシテ永續作業ニ適セサルモノト見ルヘシ、又指杆ノ形狀及其ノ配列關係ハ穀粒ノ打チ落サル程度ニ關係スルモノニシテ指杆ノ形狀不良ナルカ或ハ取付法不適當ナルトキハ例令指杆ノ配列關係良好ナリトスルモ穂切ヲ多カラシムヘク又指杆ノ形狀附着法當ヲ得タルトスルモ指杆配列關係不良ナル時ハ穂切ノミナラス扱キ落ノ齊一ナラサルノ損失アリ之等ノ點ニ就キ調査スルニ本器ニ於テハ未タ充分ナラサル點ナシトセス要スルニ本器ハ扱キ落シノ作用ヲナスト雖部分的ニ尙改良セハ尙多クノ益スル處アルモノトス

乙 蕪秣截斷用器具器械

本部ニ屬スルモノノ多クハ壓力ヲ利用スルモノトシ其ノ簡單ナルハ押切器之ナリ然レトモ本會ニ於テ此部ニ類スルモノハ一定ノ機械素ヲ備へ出品ニ點何レモ自動的ニ一定ノ長サヲ以テ蕪類ノ如キ蕪秣ヲ切斷シ得ルモノニシテ此等ハ他ノ農具、農用器械ニ比シ其ノ發達顯著ナルモノトス、總テ器具器械力其ノ構造ヲ複雜スルニ至リテハ摩擦抵抗ヲ増進シ同時ニ破損シ易キ點多カルヘキヲ以テ本部ニ於ケル如ク機械素ノ構造ヲ有スルモノニモ於テハ斯カル通弊ヲ免レ得サルモノトス例へハ鳥取縣坂田長治ノ省力蕪切機ノ如キハ他ノ蕪切器ニ比シ六割以上ノ抵抗アルカ如シサレハ考案製作者ハ構造考案ニノミ腐心シ實際ニ要スル力カ何程迄差支ナキヤニツキ研究セサレハ實地ニ不適當ナルモノヲ製作スル場合少ナカラス之レ實ニ斯道ニ志ス者ノ注意ヲ拂フヘキ點ノ一トス、今出品ニ點ニ就キ細記センカ

(一) 蕪切器械

廣島縣 双三郡三次町 永野 又 市

本器ハ普通ノ自動的蕪切機ト其ノ大體ニ於ケル構造同様ニシテ高サ二尺餘、巾一尺二寸餘、長サ二尺餘ヲ有スル支脚框ノ上部ニ巾七寸、深サ五寸二分、長サ一尺七寸五分ノ蕪本送出樋ヲ横へ其ノ底部ニハ徑二寸及徑一寸五分ノ「ローラー」ヲ左右兩端ニ置キ之ニ「ズック」ノ全巾ニ渡ル調帶ヲ一週シテ張リ以テ蕪本ノ「クヤーリヤ」トナス、右端ノ「ローラー」軸ニハ徑四寸餘ノ齒車ヲ附シ之ニ同形狀ノ齒車ヲ啮合ハシム、此齒車軸ハ斷面八角形輻軸トナリ蕪本ヲシテ樋底ト輻軸トノ間ニ插シツツ及部ノ方ニ進マシ

ムル装置トス而シテ送出樋口元即チ截斷所ハ高二寸二分、巾七寸トノ其ノ兩側柱ノ中央部ニ溝孔ヲ設ケ及部ヲシテ其ノ溝孔ヲ往復セシム及部ハ孤月狀ヲナシ及線ハ約四寸七分ノ半徑圓弧的ニシテ其ノ材料良ク製作モ之ニ叶ヘリ、及端ハ支柱ノ外側面ニ於ケル一點ヲ支點トシ柄ノ上下ト共ニ運動ヲナスモノナリ今葉ヲ適當ナル數量丈ケ先ツ以テ送出樋ニ入レ左手ヲ以テ押壓シツ、及部ニ附着セル把手ヲ舉クル時ハ及部ノ峰ハ「ラチセツト」ニ連ル搔上杆ヲ叩キ同時ニ及軸ニ連ル齒車ヲ少シク廻轉スルト同時ニ此ニ啮合フ齒車カ同量タケ廻轉スルカ故ニ輻軸ト樋底帶トハ同時ニ反對ノ方向ニ少シツツ廻轉スヘシサレハ葉ハ其ノ廻轉ニ相當スル丈ケ截斷所ニ進ミ及部ノ壓下スルニ際シ葉ハ切斷セラルヘキモノトス而シテ葉ノ截斷長ヲ調節スルハ及部ノ舉クヘキ高サニ之ヲ制定スル装置ニ依ルモノトシ釘止ノ位置ニヨリ及部ノ高サヲ一定セシムルモノナリ、截斷長ハ一寸、六分、四分ノ三段アルノミ、

本器ハ材料、製作不可ナラス殊ニ及ノ燒入程度良ク切斷ノ目的ヲ遂ケ葉束二把ヲ切斷スルニ其ノ平均壓力ハ十七、八疋ニシテ他ノ截斷刀ニ比シ其ノ抵抗ノ少キ部ニ屬シ第三區中第一位即チ二等賞ニ擬シタリ然レトモ更ニ考究ヲ重ネ他日最高級ニ列スルヲ得ヘキ様努力センコトヲ望ム

(二) 省力葉切機

鳥取縣鳥取市新町 坂 田 辰 治

本器ハ大體ノ形狀、大サ前者ニ似タリト雖及部ノ運動ハ桑刻器ノ夫レニ類シ過半ノ運動ハ斜ニ初マリ更ニ「カム」ノ作用ニヨリ直下ノ方向ニ及線ノ滑動スル構造ヲ有セリ、本器ハ構造上ニ於テハ機械素ヲ

利用スル事前者ヨリ多シト雖徒ニ複雜ニ過キ其ノ抵抗ヲ大ナラシメ實際ノ使用ニ適セス、シカモ實際セル結果ニ依レハ前者ト同様ナル材料葉二把ヲ切截スルニ平均二八・三疋ノ壓力ヲ要シ實ニ前者ノ六割三分ノ力ヲ多ク要スルモノナリ是ヲ以テ本器ハ更ニ改善ヲ加ヘ考案ヨリモ實地ニ適合スル構造及各主要ノ製作ヲ必要トスルモノトス

丙 家畜育成用器具器械

本部ニ於テ畜牛削蹄ニ關スルモノ五點トシ骨鋸、蹄刀、蹄削、蹄鎌及鐮之ナリ、骨鋸ハ鋸長一尺、巾三寸六分ニシテ外國型弓鋸ナルカ故ニ押使ヒトス柄モ亦外國鋸ノ夫ト同様ニシテ稍々舊型ノ憾アリ、蹄刀ハ長八寸巾一寸兩及トシ及渡四寸三分アリ而シテ鐵材ハ不良ナラサレトモ燒入不足ニシテ軟失ノ點ナキニアラス、蹄削及蹄鎌ハ材料、製作不良ナラス其ノ燒入モ中庸トスレトモ何レモ肉ノ稍々厚キノ憾アリ、鐮ハ兩面ニシテ大荒目、中荒目トシ長一尺、巾一寸一分トシ二分ノ厚サヲ有ス製作不良ニシテ目立ノ點殊ニ改善スヘキモノアリ、要スルニ本器具ハ殊ニ賞スヘキ點ナク四等ニ擬スヘキ價值ヲ見出ササリシモ畜産家カ家畜ノ育成上斯ル器具一揃ヲ備置スルノ要アルヲ認メ獎勵的ニ第四等賞ニ列セシメタルモノニシテ出品者ハ宜シク爾今其ノ改良ヲ爲スヘキヲ忘ルヘカラス

三 家畜ニ附随スル器具器械

本類ニ屬スモノハ總テ鞍類トシ鳥根縣ノ二點、鳥取縣ノ一點トス、鞍ニハ耕作用鞍及荷鞍アリ、何レ

モ家畜ノ骨格ニ適合スルヲ要シ鞍座ノ褥良ク家畜ノ背部ニ軟カニ當リ且ツ緊締スルモノヲ選フヘキモ
ノトス、鳥取縣蓮佛萬吉ノ鋤鞍(耕作用鞍)ハ背當リ巾八寸、底巾一尺三寸ニシテ鞍褥ハ小麥藁ヨリ成
リ其ノ厚サ二寸五分トシ鞍骨連結ハ二本ノ横棧ヲ以テセリ而シテ本器ハ其ノ鞍褥不可ナラサレトモ平
等ナラサルハ尙製作ニ注意スヘキ點トス、鳥根縣前田八十一ノ鞍骨ハ底巾一尺三寸七分トシ山形ノ間
隔心心六寸アリ、本器ハ堅木ヨリ成リ其ノ材料、製作良好ナレトモ骨ノミニテハ鞍トシテノ價值ヲ判
定スル能ハサルモノトス、鳥根縣宮本秀次郎ノ鞍ハ底巾一尺四寸ニシテ九寸ノ背當リ巾ヲ有シ山形間
隔心心五寸トス、鞍褥ハ外部ヲ稻藁策、中央部ヲ麥藁ニテ作り其ノ底面ニ「ズツク」ヲ張付ク、本器ハ
材料、製作不可ナラス、尙又之ヲ試験セシニ家畜ニ對シ其ノ背當リ好ク實地使用ニ堪ユルヲ認メ第四
等賞ニ擬シタリ然レトモ尙改良ヲ加フル點ナキニアラサルヘシ

畜産經營ノ方法及成績審査報告

審査官(主任) 畜産試驗場技師 八 欽 儀 七 郎

審査官 畜産試驗場技師 釘 本 昌 一

畜産經營ノ方法及成績ハ其ノ出品點數五ニシテ之ヲ前回ニ比シテ一點ヲ減セリ即チ兵庫縣一、岡山縣
一、鳥根縣二、山口縣一ナリ何レモ畜産給合事業經營ノ方法及其ノ成績ヲ舉ケタルモノナリ而シテ時
勢ノ變遷ニ伴ヒ時ニ消長ヲ免レスト雖概シテ各組合基礎愈堅ク事業成績ノ見ル可キモノアリ就中山口
縣郡濃郡産牛畜産組合ハ一方ニハ肉牛ノ増殖改良ノ獎勵上諸種ノ經營設置ヲナスト共ニ他方ニ於テハ
牛産セル肉牛ノ販路ニ就キ力ヲ致シ着々其ノ實績ヲ舉ケツツアルハ斯業發達上頗ル推賞ニ値ス、鳥根
縣能義郡畜産組合ハ部落實行組合ノ設立ヲ爲スナト畜産改良ノ實ヲ舉ケムト苦心ノ形跡歴然タリ、要
スルニ各組合ノ事業ハ畜産ノ改良發達ニ齎セル効果多大ナルコト疑ナキ處ナルモ尙發達ノ餘地綽々タ
ルノ感ナクンハアラス將來一層ノ奮勵努力ヲ要ス

大正八年三月二十七日印刷
大正八年三月三十日發行

農商務省農務局

印刷所 高瀬廣次
東京市本郷區森川町壹番地

印刷所 高瀬印刷所

8. 6. 3

378

56

終

